

令和4年度 学校関係者評価委員会 自己点検・評価

○沖縄医療工学院

1. 概要

職員による自己点検・評価アンケートは、文科省推薦の全国専門学校教育研究会策定の「自己点検・評価作成マニュアル」を基本に、2月22日全職員を対象に実施し、集計を行った。

また、3月に学内評価委員会により、自己採点評価を行い、評価項目内容について改善すべき事項を抽出し、総合的に評価を実施した。

2. 主な内容

(1) 教育理念・目標・人材育成像

在校生に対しては、学生のしおりに記載し、4月のオリエンテーション時に配布し周知を行っている。

教職員に対しては、年度当初の職員研修にて学校運営基本方針の周知を図り、あわせて専門職としての心構えや、職場のチームの一員として働くための、周囲との関わり方等の研修を行い、今後社会で求められる、人材育成の在り方について学んだ。

学外の方には、学校パンフレット・学校ホームページに掲載し適切に公表している。

職員から高い評価は得られていない項目もあり、研修会等の充実を計る必要がある。

(2) 学校運営

運営方針や事業計画について、学校パンフレット・学生のしおり・学校ホームページ上で明記している。また、各学科保護者会を通じて、学校の年間計画・活動、実績報告・運営状況を伝え、ご理解いただいている。

教育活動については、教育課程表を、学生のしおり・学校ホームページに掲載、またシラバスは学校ホームページに掲載しており、情報公開を行っている。

校務分掌の適切な運営を図るための人事配置や会議等の定例化、各学科との連携を密に行う等、さらなる改善が求められる。また、情報システムについて業務の効率化を図るため、入試・学籍・学納金等、学生管理の一元化するシステムの導入を行った。

(3) 教育活動

教育課程について、年2回の教育課程編成委員会を行い、有識者や企業等委員からの意見を取り入れ、職業教育に特化した教育課程の編成に努めている。

教職員の専門性や指導能力の向上を行うため外部機関が実施する学科関連の学会や研修、専門学校主催研修、各種コンクールや各種大会等には積極的に参加を進めた。

また、新型コロナウイルスの影響により一部リモートでの授業に切り替え、学生の学びに支障が出ないように、遠隔授業可能な施設設備の導入を行い、遠隔授業の実施を行った。

(4) 学修成果（令和3年度）

今年度の就職・資格取得・退学については、集計が年度途中のため、次年度の学校関係者評価委員会で報告とする。今回は前年度（令和1年度）の実績報告を行う。

① 就職率（令和3年度実績）

救急救命士学科（32名）	34%（11名）
臨床工学技士学科（27名）	96%（26名）
柔道整復師学科（12名）	83%（10名）

② 資格取得率（令和3年度）

救急救命士学科（32名）	救急救命士国家資格	81%（26名）
臨床工学技士学科（26名）	臨床工学技士国家資格	81%（24名）
柔道整復師学科（13名）	柔道整復師国家資格	76%（10名）

③ 退学率（令和3年度）

救急救命士学科（10名）	12%
臨床工学技士学科（7名）	7.4%
柔道整復師学科（5名）	9%

救急救命士の就職率が低い点については、学生の希望する就職先が公務員のため、公務員試験の対策に力を入れていかなければならない。

特に救急救命士学科の公務員対策ゼミや臨床工学技士学科のテーマ研究発表、その他国家試験合格率・就職率を向上させるため、各学科・各部署とも連携をとり改善していかなければならない。

(5) 学生支援

担任制を採用し、日常的な面談を実施している。また、教育相談室を開設し、学生の相談・メンタルケアを行っている。教職員の連携として学科長会議などで学生指導の状況報告など情報共有を図っている。学生面談記録や指導記録は文書化され保管されている。

入学前においてはオープンキャンパス・体験入学・学校説明会で生徒及び社会人、保護者の方々に対して、学校の特性や教育理念等を説明している。

(6) 教育環境

施設・設備については、先ほど述べたように校内ネットワーク環境を強化し、遠隔授業に取り組めるよう整備を行った。その他、施設設備の老朽化、機器や備品の故障等の対応を随時行っていく計画である。

学外の研修について、臨床工学科3年・救急救命学科3年の病院実習、同乗実習製菓製パン学科2年のインターンシップや東京研修が滞りなく実施された。

(7) 学生の受入れ募集

学生募集については、オープンキャンパスや学校説明会でパンフレットを配布し、丁寧な説明を行っている。また、経済的に支援が必要な学生については、奨学金情報の周知徹底を行い、学ぶ機会の継続に努めている。

(8) 財務

学校財務について、長期的なビジョンを基に、中期的計画、短期的計画を立案し、計画に沿って実施を行っている。年度予算編成及び執行については、規定に基づき適切に対応している。

財務情報については、学校ホームページ上にて公開を行っている。

(9) 法令等の遵守

各種専修学校設置基準を遵守し、各学科主管のガイドラインに沿った適正な運営を行っており、組織的に自己点検・評価委員会を継続的に実施している。また、学校関係者評価委員会報告書や職業実践専門課程報告文書の公開を、学校ホームページ上で行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

各業界団体との連携を行い、危険物取扱者試験、ジャパンウィンターリーグ、資格試験会場校として協力を行った。

今年度、救急救命学科はNAHAマラソン・久米島マラソンの救護ボランティアとして学生が参加、その他、スポーツ健康学科は伊佐公民館にて高齢者ストレス教室を開催、製菓製パン学科は、販売実習を行うなど地域貢献に努めている。

今後の方針として、積極的に公開講座・学会また、学園祭などを開催し学外の方が積極的に学校へ足が運べるようなイベントの実施を行なっていきたい。